



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月9日 東

上場会社名 アマテイ株式会社 上場取引所
 コード番号 5952 URL http://www.amatei.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秋元 直行
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 石野 栄一 (TEL) 06-6411-1236
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	3,852	△2.0	△0	—	11	△51.6	55	177.9
26年3月期第3四半期	3,932	4.1	42	△3.2	23	△45.5	19	△35.0

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 111百万円(133.0%) 26年3月期第3四半期 47百万円(87.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	4.50	—
26年3月期第3四半期	1.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	5,184	976	18.2
26年3月期	4,845	865	17.2

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 942百万円 26年3月期 834百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	0.00	0.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,200	△2.8	27	△55.1	32	△9.1	70	175.9	5.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年3月期3Q	12,317,000株	26年3月期	12,317,000株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	48,582株	26年3月期	47,478株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年3月期3Q	12,268,943株	26年3月期3Q	12,269,716株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	11
生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税増税や円安による原材料価格の上昇等により、個人消費の低迷が続き、依然として国内景気の下振れリスクはあるものの、政府の経済対策や日銀の金融政策を背景に緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、中国をはじめとした新興国や欧州の経済動向や中東情勢等が懸念され、更なる円安による輸入品コストやエネルギーコストの上昇等、景気の先行きには引き続き不透明な状況が続いております。

このような事業環境のなか、当社グループの主たる事業である建設・梱包向事業のうち建設業界向は、第3四半期における新設住宅着工戸数が233千戸(前年同四半期比13.8%減)と平成26年3月以降、前年度割れとなっており、消費税増税の影響は和らぎつつあるものの、依然、住宅需要の環境は厳しいものがあります。また、電気・輸送機器向事業は、需要家の現地調達化及び輸入品へのシフトは、円安基調によりその動きは止まったものの、弱電・OA機器等の需要に力強さは感じられず、輸送機器向も中国向け完成車・部品の輸出が落ち込む等、厳しい事業環境が続きました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、3,852百万円(前年同四半期3,932百万円、2.0%減)の減収となりました。営業損益は、製造コストや輸入商品の仕入コストの増大により、0百万円の損失(前年同四半期42百万円の利益)となり、経常利益は、11百万円(前年同四半期23百万円)となりました。四半期純利益は、第2四半期連結会計期間における事務所棟及びその敷地の売却による固定資産売却益69百万円、事務所機能を工場内に移設したことに伴う等固定資産除却損20百万円を計上したこと等により、55百万円(前年同四半期19百万円)となりました。

当四半期連結累計期間におけるセグメントの業績を示すと、次の通りであります。

(建設・梱包向)

建設・梱包向セグメントは、消費税増税前の駆け込み需要の反動の影響が残り、釘の需要はあまり増えず、輸入品価格の高止まりや電力料等の製造コストの上昇分を販売価格に十分に転嫁できなかったことにより、収益は悪化しました。この結果、当セグメント売上高は、前年同四半期比4.1%減の3,010百万円となり、セグメント利益は前年同四半期に比べ44百万円減少し、123百万円となりました。

(電気・輸送機器向)

電気・輸送機器向セグメントは、需要家の現地調達化及び輸入品へのシフトの動きは止まり、海外移転が進んだ輸送機器向けもその動きは沈静化したため、需要は幾分回復しましたが、電力料・外注加工費等の製造コストが増加したことにより、収益は減少しました。その結果、当セグメントの売上高は、前年同四半期比6.2%増の842百万円となり、セグメント利益は前年同四半期に比べ2百万円減少し、11百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は5,184百万円(前連結会計年度末〔以下「前年度末」という〕比338百万円増)となりました。流動資産は、前年度末に比べ75百万円増加し、2,870百万円となりました。これは建設・梱包向及び電気・輸送機器向共、主にたな卸資産のなかで商品及び製品が73百万円増加したことに等よるものであります。固定資産は、前年度末に比べ263百万円増加し、2,313百万円となりました。これは有形・無形固定資産の設備投資額が278百万円に対して減価償却費が108百万円であり、投資有価証券が第3四半期連結会計期間末の株価の上昇により、49百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は、前年度末に比べ227百万円増加し、4,207百万円となりました。流動負債は、前年度末に比べ75百万円増加し、2,882百万円となりました。これは短期借入金が36百万円増加し、その他の中の設備関係支払手形が建設・梱包向で増加したこと等によるものであります。固定負債は、前年度末に比べ152百万円増加し、1,325百万円となりました。これは長期借入金等が増加したことによるものであります。

有利子負債(短期借入金、長期借入金)は2,819百万円(前年度末比171百万円増)となりました。これは、長期借入金の返済512百万円に対して、電気・輸送機器向で多段冷間圧造設備資金として205百万円を調達したこと等を含め、長期借入金を705百万円借入れたこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、976百万円となり、前年度末に比べ110百万円増加しました。これはその他有価証券評価差額金が、投資有価証券の時価の上昇により、前年度末に比べ31百万円増加し、四半期純利益が55百万円であったこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前年度末の17.2%から18.2%となり、1株当たり純資産は68.02円から76.79円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年11月4日に発表した平成27年3月期の連結業績予想は、第3四半期決算短信の開示時点において、建設・梱包向では消費税増税の反動による影響は収束し、幾分の需要の回復と販売価格の是正が見込めるため、修正はしていません。なお、業績に影響を与える事象が発生しましたら、適宜お知らせいたします。

第4四半期連結会計期間以降のセグメント毎の業績見通しは、次の通りであります。

(建設・梱包向)

新設住宅着工は、平成26年3月以降、前年割れの状況が続いており、平成26年暦年で892千戸、前年比9.0%減となる見込みであります。第3四半期連結累計期間までは、消費税増税による駆け込み需要の反動が残りましたが、漸く収束し、第4四半期連結会計期間は閑散期に入るものの、需要は幾分持ち直す見込みであります。しかしながら、来春からの電気料金の再値上げや物流コストの上昇、円安による輸入商品の仕入コストの増加も懸念されるため、販売価格の是正をさらに推し進めていくことが課題であると認識しております。今後とも、販売価格の改善と輸入商品の仕入コストの低減、当社特許品である「木割れ最強釘」及び輸入商品等の拡販を図り、また、新製品開発にも取り組んでまいります。

(電気・輸送機器向)

電気・輸送機器向事業は、前述のとおり、需要家の現地調達化及び輸入品へのシフトは、円安基調を受けその動きは止まっております。東北での自動車関連の事業の動きとして、自動車メーカーや一次部品メーカーが、部品調達にあたり、地場サプライヤーの起用を幅広く進めており、また、電気メーカーは従来の商社経由取引をメーカー直取引に舵をきり始めたことから、今後の需要の取り込みが期待できる状況にあります。しかしながら、第3四半期連結会計期間より量産を予定していた多段冷間圧造設備の稼働が、一部次期にずれ込むことが見込まれるため、早期稼働が課題であると認識しております。

以上のことにより、当連結会計年度(平成27年3月期)の通期業績見通しにつきましては、連結売上高5,200百万円、連結営業利益27百万円、連結経常利益32百万円、連結当期純利益70百万円を見込んでおります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	447,563	490,536
受取手形及び売掛金	1,402,753	1,336,059
商品及び製品	553,537	626,686
仕掛品	179,725	201,178
原材料及び貯蔵品	189,028	195,257
繰延税金資産	9,455	8,505
その他	17,206	16,228
貸倒引当金	△4,273	△3,596
流動資産合計	2,794,996	2,870,854
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	552,744	571,142
機械装置及び運搬具(純額)	448,679	519,270
土地	793,421	790,618
その他(純額)	61,217	167,196
有形固定資産合計	1,856,062	2,048,227
無形固定資産		
ソフトウェア	17,882	25,284
その他	12,894	10,335
無形固定資産合計	30,777	35,619
投資その他の資産		
投資有価証券	119,526	169,102
その他	67,317	83,604
貸倒引当金	△23,389	△23,210
投資その他の資産合計	163,455	229,497
固定資産合計	2,050,294	2,313,344
資産合計	4,845,290	5,184,199

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	905,375	892,290
短期借入金	1,685,857	1,721,928
未払法人税等	1,521	3,568
賞与引当金	28,836	18,495
その他	185,086	245,973
流動負債合計	2,806,676	2,882,254
固定負債		
長期借入金	962,773	1,097,893
繰延税金負債	7,379	25,023
役員退職慰労引当金	19,967	16,503
退職給付に係る負債	180,015	182,239
資産除去債務	2,562	3,437
固定負債合計	1,172,697	1,325,096
負債合計	3,979,374	4,207,351
純資産の部		
株主資本		
資本金	615,216	615,216
資本剰余金	40,181	40,181
利益剰余金	195,928	251,172
自己株式	△2,923	△3,022
株主資本合計	848,402	903,548
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,354	45,286
退職給付に係る調整累計額	△27,134	△6,783
その他の包括利益累計額合計	△13,780	38,502
少数株主持分	31,293	34,796
純資産合計	865,916	976,847
負債純資産合計	4,845,290	5,184,199

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	3,932,973	3,852,634
売上原価	3,263,990	3,229,949
売上総利益	668,983	622,684
販売費及び一般管理費	626,320	623,523
営業利益又は営業損失(△)	42,662	△839
営業外収益		
受取利息	63	47
受取配当金	1,005	4,180
受取賃貸料	8,572	13,373
助成金収入	-	16,894
その他	5,720	9,193
営業外収益合計	15,360	43,688
営業外費用		
支払利息	28,666	25,172
その他	6,088	6,423
営業外費用合計	34,754	31,595
経常利益	23,268	11,254
特別利益		
固定資産売却益	-	69,948
特別利益合計	-	69,948
特別損失		
固定資産除却損	64	20,172
ゴルフ会員権売却損	1,666	-
特別損失合計	1,731	20,172
税金等調整前四半期純利益	21,537	61,030
法人税、住民税及び事業税	2,101	4,582
法人税等調整額	△1,427	△2,298
法人税等合計	673	2,283
少数株主損益調整前四半期純利益	20,863	58,747
少数株主利益	986	3,503
四半期純利益	19,876	55,243

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	20,863	58,747
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27,079	31,931
退職給付に係る調整額	-	20,351
その他の包括利益合計	27,079	52,282
四半期包括利益	47,943	111,029
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	46,956	107,526
少数株主に係る四半期包括利益	986	3,503

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	建設・梱包向	電気・ 輸送機器向	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,139,638	793,334	3,932,973	—	3,932,973
セグメント間の内部売上高 又は振替高	19	3,084	3,103	△3,103	—
計	3,139,657	796,418	3,936,076	△3,103	3,932,973
セグメント利益	168,156	13,982	182,138	△139,475	42,662

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	182,138
セグメント間取引消去	△109
全社費用(注)	△139,366
四半期連結損益計算書の営業利益	42,662

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	建設・梱包向	電気・ 輸送機器向	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,010,437	842,196	3,852,634	—	3,852,634
セグメント間の内部売上高 又は振替高	38	5,181	5,219	△5,219	—
計	3,010,475	847,377	3,857,853	△5,219	3,852,634
セグメント利益又は損失(△)	123,978	11,227	135,206	△136,045	△839

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	135,206
セグメント間取引消去	△124
全社費用(注)	△135,921
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△839

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績及び仕入実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
建設・梱包向	2,538,361	△4.1
電気・輸送機器向	769,671	+13.8
合計	3,308,032	△0.5

(注) 1 金額は、生産実績は製造原価、仕入実績は仕入価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

② 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
建設・梱包向	2,986,410	△6.1	353,045	△5.8
電気・輸送機器向	839,481	+3.0	94,557	△8.8
合計	3,825,892	△4.3	447,603	△6.4

(注) 1 金額は、販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

③ 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメント	販売高(千円)	前年同期比(%)
建設・梱包向	3,010,437	△4.1
電気・輸送機器向	842,196	+6.2
合計	3,852,634	△2.0

(注) 1 金額は、販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 当第3四半期連結累計期間における主な相手先別の販売実績および当該販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
大東スチール株式会社	749,933	19.1	787,183	20.4

3 上記の金額には、消費税等は含まれていません。